

## 令和6年度 第1回山口県国民健康保険運営協議会 会議録（概要）

### 1 開催日時

令和6年11月19日（火） 10:00～11:15

### 2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室（web併用）

### 3 出席者

運営協議会委員：9名

### 4 議題

- (1) 本県の国民健康保険の概況について
- (2) 令和5年度国民健康保険特別会計決算剰余金の使途について
- (3) 保険料水準の統一（納付金ベース）の導入に係る事業費納付金の算定方法の変更について

#### 主な質疑応答・意見等 [●：委員 □：事務局]

##### 【本県の国民健康保険の概況について】

- 本県の一人当たりの医療費の推移では、全体の医療費の推移がわかりにくい。人口構成などで医療費分析ができるように今後検討していただきたい。
- 次年度以降、資料を改善したい。

##### 【令和5年度国民健康保険特別会計決算剰余金の使途について】

※ 県から協議会に対して諮問のあった令和5年度国民健康保険特別会計決算剰余金の使途については、事務局案のとおり承認された。

- 国保財政安定化基金の財政調整事業分について将来医療費を見据えた規模感の検討が必要ではないか。
- その認識はもっている。今後、市町と協議し、適切な規模感を検討していきたい。

##### 【保険料水準の統一（納付金ベース）の導入に係る事業費納付金の算定方法の変更について】

※ 県から協議会に対して諮問のあった保険料水準の統一（納付金ベース）の導入に係る事業費納付金の算定方法の変更については、事務局案のとおり承認された。

- 少子高齢が進行していく中、県として、完全統一に向けたスピードを早めたほうがよいのでは。
- 完全統一は、市町によって異なっている前提条件の調整が必要となるため、引き続き検討してまいりたい。
- 高額療養費用の共同負担を導入するということだが、県内の各市町で高額医療費はどれくらいの差異があるのか。
- 市町ごとに差はあると思うが、同一市町でも年によって大きく変動することが問題となる。特に、小規模な保険者はそれによる財政的な影響を受けやすい。